

審議会等名	令和5年度第2回つくばみらい市社会教育委員会議及び公民館運営審議会
開催日時	令和6年3月26日（火曜日） 午前10時から
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎 2階 会議室1・2
出席者	出席委員 吉田委員長、小林副委員長、岡田委員、斉藤委員、文随委員、佐藤委員、久地岡委員、原委員、木田委員、直井委員 欠席委員 鈴木委員、堀内委員 事務局 大山生涯学習課長、渋谷課長補佐、浅野文化振興室長、広瀬伊奈兼谷和原公民館長、松信スポーツ推進室長、川田館長、鈴木主査、安楽主査、森主査、関主査、木村係長、中村主事
議案	【協議・報告事項】 ○令和5年度事業報告について 1 生涯学習事業 2 青少年事業 3 公民館事業 4 社会体育事業 5 図書館事業
議事内容	・開会 午前10時00分 ・委員長あいさつ ・協議・報告事項 事務局から、令和5年度事業報告について、資料に基づき説明を行った。 【質疑等】 委員：生涯学習事業の講座ですが、定員を超えた応募があるのにも関わらず、受講者数が定員を下回っているはなぜですか。 事務局：定員よりも応募人数が多く、抽選を実施し、定員分の人数に対して、当選の通知をしております。受講者数につきましては、当日の体調不良によるキャンセル等で、追加で参加いただくことができなかったため、定員を下回っている講座もあります。 委員：人気の講座は計画的に実施してほしい。

	<p>委員：試験的に実施した学校プール開放事業ですが、来年度以降の考えを教えてください。</p> <p>事務局：つくばみらい市には市民プールがないというところで、学校プールの有効活用し、子どもたちに水泳に親しむ機会を創出するため事業を実施しましたが、実際には中止になる日が多く、プールの監視員の確保も困難で、ごく一部の子どもたちが利用していたこともあり、費用対効果の面で、令和6年は実施しないことになりました。</p> <p>委員：プール開放事業は、毎日参加している子どもたちが同じということで、費用対効果が得られなかったということですが、毎日来ている子どもたちの居場所になっていたと言えます。何らかの形で、子どもたちの居場所づくりを考えていただければと思います。</p> <p>委員：プール開放事業の各学校の利用者数を教えてください。利用者数の多い場所は、やめるのではなく、継続することを検討したほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>事務局：各学校の利用者数は把握しているのですが、手元に資料がないため、後日、ご報告いたします。 児童数の多い学校は利用者数も多いなど、学校ごとにプールの利用者数に差はありました。令和6年度については実施しませんが、今後については、夏のイベントは熱中症警戒アラートが発表されて難しいところではありますが、動向を見て検討していきたいと考えています。</p> <p>委員：中止するのは簡単だが、継続することを検討してほしい。</p> <p>委員：わくわくチャレンジ講座が延期になった理由について教えてください。</p> <p>事務局：台風により延期しました。</p> <p>委員：二十歳の集いの参加者が全体の70%ということですが、例年と比べてどうでしたか。特に伊奈地区が少ないと感じましたが。</p> <p>事務局：参加率については、例年と同様の傾向となります。</p> <p>委員：スナックゴルフ大会の参加が、6校32名の参加というところで、もっと多くの子どもたちが参加していただけたらと思います。参加者の募集方法を教えてください。</p> <p>委員：募集についてですが、市内小学校を通じて、全ての児童に周知しているところです。スナックゴルフの大会が、3人の団体競技というところで、全国に繋がる大会には個人で</p>
--	--

	<p>の参加が難しい状況であります。大会の前段の市の大会や体験会は個人で参加ができるため、体験の機会を増やし、参加者を増やしていければと考えています。また、市内の全学校から参加いただけるように、積極的に事業を進めていきたいと考えています。</p> <p>委員：コミュニティセンターの自主事業についてですが、谷井田コミュニティセンターだけ、参加人数が少ないようですが、今後の広報の仕方などが考えられるのですが。</p> <p>事務局：コミュニティセンターの自主事業については指定管理者が企画しています。毎年、企画をして、広報紙やパンフレットでお知らせをしているのですが、地域性が大きいと思われれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副委員長より、県南・県政地区の社会教育委員の研修会について報告。 ・閉会 午前11時10分
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 0名</p>